

	A1-1	A1-2	A2-1	A2-2	B1	B2	C1	C2
<b>聞く</b> 対面 オンライン	身近な場面でよく使われる基本的な語句がわかる。限られた範囲であれば、自分の専門分野でよく使われる語句*がわかる。	身近な場面でよく使われる簡単な表現がわかる。自分の専門分野で必要な基本的な語句*や表現がわかる。	日常的な話題について短くはっきり話されれば、大切なポイントを聞き取ることができる。	日常のコミュニケーションでよく使われる表現がわかる。自分の専門分野でよく使われる語句*を含む簡単な指示や説明がわかる。	よく知っている話題なら、メディア（音声メディア・テレビ・動画など）から、主な内容やデータを推測しながら聞き取ることができる。自分の専門分野でよく耳にする指示や説明がだいたいわかる。	自分の専門分野の話題について、構成がまとまっていれば理解できる。特定のポイントを聞き分け、示すことができる。メディア（動画・講義・ウェビナーなど）から、主要な事実や要点を推測しながら聞き取ることができる。	自分の専門分野の新しいテーマについて、講義や学会発表などが概ね理解できる。少し複雑な主張や問題点もわかる。科学技術に関するトピックで、話の流れが明確でなくても、内容を理解したり推測したりできる。	自分の専門分野に限らず、どんな話題の長い話でも理解できる。情報を聞き取りながら、分析・評価できる。
<b>読む</b> 【文字】	身近な場面や自分の専門分野でよく目にする、ごく基本的な語句*が読める。【ひらがな・カタカナ、漢字数約40字】	身近な場面や自分の専門分野でよく目にする、基本的な語句*や簡単な文が読める*。【累計漢字数約100字】	日常的な出来事についての簡単な文章なら、意味を推測しながらある程度理解できる*。【累計漢字数約200字】	日常の簡単な通知や案内（メモ、メッセージ、メールなど）の内容を読んで理解できる*。【累計漢字数約300字】	通知や案内（メモ、メッセージ、メールなど）の内容が理解できる。少し難しい文章でも、意味を推測してある程度理解できる。言語使用域*や文章の形式の違いがある程度わかる。身近な専門分野のトピックなら、説明的な文章などから学ぶことができる*。【累計漢字数約600字】	自分の専門分野なら、少し複雑な文章でも理解でき、具体的な疑問点に答えを見つけることができる。科学を題材とする一般向けの文章では、主張や反論が理解できる*。【累計漢字数約1000字】	専門的な文章を読み、必要に応じて意味を推測できる。よく知らない手順についても、複雑な指示や説明がわかる。言語使用域*が細かいところまでわかる。【累計漢字数約1900字】	自分の専門分野に限らず、どんな文章でも読める。情報を読み取りながら、分析・評価できる。【累計漢字数2000字以上】
<b>会話</b> 対面 オンライン	初対面の人に自己紹介ができる。ごく身近な話題（勉強や仕事など）について、簡単な質問をしたり答えたりできる。ごく基本的な非言語表現*がわかる。	身近な話題について、少し詳しく質問をしたり答えたりできる。基本的な非言語表現*がわかる。	自分のことや仕事について、基本的な情報のやりとりができる。短時間なら、身近な話題の会話を続けられる。	自分のことや仕事について、少し詳しい情報のやりとりができる。日常的な状況で友達や仕事仲間と協力することができ、よく起こる問題について伝えることができる。非言語表現*を使うことができる。	日常的な場面でも改まった場面でも、簡潔に話すことができる。問題があれば解決策を提案できる。仕事や会議で会話ができ、質問に回答できる。	自分の専門分野の話題なら、話し合いに参加して、問題解決に取り組むことができる。根拠のある意見を述べたり、同僚と対話したり、ミーティングを進めたり、合意を目指して円滑に話し合いができる。	自分の専門分野について、聞き手に合わせて自分の理解や認識を流暢に述べることができ。会話を通して、協働・フィードバック・対話・問題解決を行うことができる。	自分の専門分野に限らず、どんなテーマの議論にも積極的に参加できる。言語使用域*、専門分野の技術の複雑さ、説明方法などを、状況や聞き手に合わせて調整できる。
<b>話す</b> 対面 オンライン	簡単な自己紹介ができる。ごく身近な話題（自分の専門、家族など）について、短く話すことができる。	身近な話題について、簡単な語句や文を使って話すことができる。簡単な表現を使って希望や依頼を伝えることができる。	自分のことについて、簡単な語句や文をつなげて話すことができる。	身近な話題なら、経験や計画について短く話せる。事前に用意すれば、自分の専門分野に関係した物・経験・観察・計画を簡単に説明できる。	自分の仕事や経験について話ることができる。情報の要約、データやプロセスの説明ができる。技術的なテーマについて、視覚資料を使って発表することができる。	自分の専門分野でよく使われる語句を使いながら、経験・観察・計画などを述べるができる。手順や方法について説明や指示ができる。データを解釈し、正確で簡潔に伝えることができる。	適切な構成や表現を使い、スベッチやプレゼンテーションができる。聞き手の専門性が促すことができる。聞き手の注意を引き、必要な情報を伝えることができる。	自分の専門分野に限らず、どんなテーマでも流暢に話すことができる。言語使用域*、専門分野の技術の複雑さ、説明方法などを、状況や聞き手に合わせて調整できる。
<b>書く</b>	簡単な自己紹介や短い文が書ける。ひらがなとカタカナを書いたり、入力したりできる。	自分のことや自分の専門分野について、簡単な文が書ける。漢字を含んだ短い文を入力できる。	大学や職場での日常的な出来事について、短いメッセージを書くことができる。	一般的な物について、簡単に記述することができる。メールなどで簡単な依頼や提案をしたり、答えたりできる。	自分の専門分野に関する事柄について、簡潔に説明する文章が書ける。適切な表現を使って短いメールなどのやりとりができる。資料やツールを用いて文章を改善できる。	技術分野の文章を要約したり書き換えたりできる。文章を（一人または共同で）効果的に構成、作成できる。技術的なトピックで、意見を述べたり説明したりできる。定型表現を使って、メールなどでやりとりができる。	一貫性のある論理的な文章を（一人または共同で）書くことができる。学術的・技術的ライティングの形式を使い、効果的な文章が作成できる。協働したり、相互にフィードバックのやりとりができる。	自分の専門分野に限らず、どんなテーマでも一貫性のある自然で読みやすい文章が書ける。言語使用域*、専門分野の技術の複雑さ、説明方法などを、状況や読み手に合わせて調整できる。ソーシャルメディアを使って自分の仕事について発信できる。
	A1-1	A1-2	A2-1	A2-2	B1	B2	C1	C2

\*1 数字、重要な ICT 用語など。 \*2 ジェスチャー、視線、身体の動きなど。 \*3 状況、場面、分野による言葉の違い（Register レジスター）。 \*4 未知の漢字語彙にふりがな、語彙の意味、ツール利用などの補助がある場合。

参考 日本語能力試験（JLPT）相当レベル A1-2/N5 A2-2/N4 B1/N3 B2/N2 C1/N1

2023年11月作成